

2014 後期

東京藝術大学大学院映像研究科
映画専攻・アニメーション専攻

上野校地シアター

11/17 (月) 18:15 開場
18:30 開演

アニメーション専攻

12/17 (水) 17:00 開場
18:00 開演

映画専攻

会場：東京藝術大学 美術学部中央棟 第一講義室
入場無料



東京藝術大学大学院映像研究科
映画専攻・アニメーション専攻
2014 後期

上野校地シアター

会場：東京藝術大学 美術学部中央棟 第一講義室

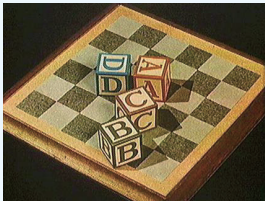
11/17(月) アニメーション専攻

18:15 開場 18:30 開演



『ワイルドライフ』*オスカー賞/ミネート

2011年/カナダ/13分10秒
監督：アマンダ・フォービス、ウェンディ・ティルビー
(c)National Film Board of Canada



『カノン』

1964年/カナダ/9分16秒
監督：ノーマン・マクレーン、グラント・マンロー
(c)National Film Board of Canada



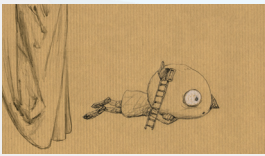
『ことば、ことば、ことば』*オスカー賞/ミネート

1991年/チェコ/8分12秒
監督：ミカエラ・パヴラトヴァ



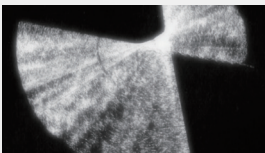
『フライング・ナンセン』

1999年/ウクライナ/アメリカ/11分34秒
監督：イゴリ・コヴァリョフ



『こどもの形而上学』

2007年/日本/5分10秒
監督：山村浩二
(c)Yamamura Animation



『Animation Circus 01~03』

2013~2014年/2分31秒
アニメーション専攻
平面アニメーション表現特別演習課題作品

山村浩二 (アニメーション専攻 教授)

1964年名古屋生まれ。『頭山』がアヌシー、ザグレブ、広島をはじめ6つのグランプリを受賞、アカデミー賞にノミネートされる。また『カフカ 田舎医者』がオタワなど7つのグランプリを受賞。2011年には日本人初のNFBとのアニメーション共同制作『マイブリッジの糸』を完成。アニメーション作品の国際的な受賞は80を越える。国際アニメーションフィルム協会理事、日本アニメーション協会副会長。

12/17(水) 映画専攻

17:00 開場 18:00 開演



『息を殺して』

2014年/アメリカンビスタ/5.1ch / color / 85min
8期生修了制作

【スタッフ】

監督/脚本：五十嵐 耕平 製作：大木 真琴/加藤 圭祐 助監督：廣原 暁
撮影/照明：高橋 航 録音/整音：稲村 健太郎 美術：河股 藍 衣装：谷本 佳菜子
ヘアメイク：光岡 真理奈 (atelier ism®) 編集：姜 銀花 音楽：Sleepy Lemon

【出演】

谷口 蘭 / 稲葉 雄介 / 嶺 豪一 / 足立 智充 / 原田 浩二 / 田中 里奈 / 稲垣 雄基 / のぼ (Nobody) / あらい 汎

【あらすじ】

オリンピックを二年後に控えた2017年12月30日。ゴミ処理工場に一匹の犬が迷い込む。タニちゃんは犬を探すが見つからない。夜勤を終えたケン、ゴウ、足立さん、ヤナさんは帰りもせずTVゲームなどで遊んでいる。しかし彼らは皆同じような問題を抱えていたのだった。妊娠、不倫、家族、戦争で死んだ友達。そんな中、足立さんとの不倫関係に思い悩むタニちゃんだったが、いつしか既に死んだはずの元工場長の父親が、この場所にはいるのではないかと感じ始める。

登壇者

五十嵐 耕平 (監督)

1983年静岡県生まれ。東京造形大学映画専攻に進学し、同大学の教授、映画監督の諏訪敦彦氏のもとで映画を学ぶ。在学二年時に制作した初長編映画『夜来風雨の声』が、Cinema Digital Seoul 2008 Film Festivalに出品され、韓国批評家賞を受賞。2014年4月公開のふみふみ原作オムニバス映画『恋につきもの』の一篇「豆腐の家」を監督。

諏訪 敦彦 (映画専攻 監督領域教授)

1960年生まれ。東京造形大学在学中にインディペンデント映画の制作にかかわる。卒業後、テレビドキュメンタリーの演出を経て、96年に『2/デュオ』を発表し、ロッテルダム国際映画祭最優秀アジア映画賞受賞。『M/OTHER』でカンヌ国際映画祭国際批評家連盟賞受賞。その他の主な作品に『H/Story』『バリ・ジュテーム』(オムニバス)『不完全なふたり』(ロカルノ国際映画祭審査員特別賞)『ユキとニナ』など。完成された脚本を用いない独特の手法で知られる。2008年から2013年まで東京造形大学学長を務めた。

入場無料

主催：東京藝術大学大学院映像研究科